

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL茨木 新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市丑寅一丁目	構造	S造
用途地域	工業地域,準防火,第三種高度地区	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,学校,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年9月1日
敷地面積	27,820 m <sup>2</sup>	作成者	下村 宏
建築面積	16,386 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月1日
延床面積	58,146 m <sup>2</sup>	確認者	下村 宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>可能な限り前面道路より後退させ、道路境界部に高木を設置することで建築物のボリュームを抑え、近隣への圧迫感軽減に努めた計画。 託児所を設けることで社員が安心して働けるよう配慮した計画。</p>		<p>その他</p> <p>太陽光パネルの設置。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>仕上げ部材にはF☆☆☆☆を使用することで室内空気質に配慮した計画。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>天井高を高くすることで圧迫感のない空間づくりに配慮した計画。 また、OAフロアを使用することで柔軟なレイアウトの変更が可能な計画。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>可能な限り前面道路より後退させ、道路境界部に高木を設置することで建築物のボリュームを抑え、道路側に樹木を配置、透過性の高いメッシュフェンスを設置することで閉塞感が無いように配慮した計画。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を採用することで省エネルギーに配慮した計画。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器の採用することで節水に配慮した計画。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>出来るだけ緑地を設け温熱環境に配慮した計画。 十分な駐車場、駐輪場を設け周囲への交通負荷抑制に配慮した計画</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0081

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)DPL茨木 新築工事						
	建設地	大阪府茨木市丑寅一丁目						
	用途/区分	工場 事務所 学校(小中高)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.4	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.6	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							